

1. 日時・場所 令和8年1月21日(水) 5校時 13:35~14:20 4階多目的ホール
2. 単元名 「歴史を学ぶ意味を考える」 ～未来への“One Voice”～
3. 学校教育目標と社会科で目指す子どもの姿

【学校教育目標】

子ども一人一人を大切にしたい豊かな人間性をはぐくむ教育

〈目指す子ども像〉

考えを深める子・自分も相手も大切にする子・粘り強く取り組む子

本校の教育目標である「子ども一人一人を大切にしたい豊かな人間性をはぐくむ教育」を基盤に、社会科の歴史学習を通して「考えを深める子」の育成を目指してきた。本単元では、6年生の歴史学習のまとめとして〈歴史を学ぶ意味〉を考えていく。これまでの学びを振り返りながら、子どもたちには「これからの日本や世界をよりよくしていくために何を大切にしていってほしいか」と問い直す。授業では、歴史的事実を一方向から捉えるのではなく、政治の仕組みや政策、人々への影響など、多角的な視点から考えるよさを実感できるようにしていきたい。友達の考えに触れることで、「そんな見方もあったのか」と新しい気づきを得て、自分の考えを広げたり深めたりすることを目指していく。こうした学びを通して、歴史を“自分ごと”として捉え、未来に生かそうとする態度を育てていきたい。

4. 単元目標

これまでの歴史学習の内容をふまえ、未来の世界や日本の在り方について、現代の諸課題と歴史人物の働きや世の中の様子、代表的な文化遺産とを比較・関連・総合しながら議論し、自分の考えを表現することを通して、社会の担い手であることを自覚し、主体的に問題解決しようとする態度を養う

5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、我が国を発展させてきた出来事や歴史人物について考え、表現している。 ②未来の世界や日本の在り方について、現代の諸課題と歴史人物の働きや世の中の様子、代表的な文化遺産とを比較・関連・総合しながら議論し、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	①どのような人物の活躍やできごとが日本を発展させたのかについて考える学習の計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②我が国の歴史上の主な事象について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

※本単元は、これまでの歴史学習で習得した知識・技能を活用し、問題解決に向けて、思考力・判断力・表現力等及び、主体的に学習に取り組む態度を発揮できるようにする。

6. 目指す子どもの姿に迫るための授業改善の5つの視点

(1) 教材化 ～社会の担い手としての自覚を育てる～

本単元では、歴史上の人物の働きや社会の成り立ち、文化遺産などをふまえ、未来の日本や世界をどのようにしていくかを自分の言葉で語ることができる姿を目指している。そのためには、まず「自分たちも社会をよりよくしていく担い手である」という意識を高める必要があると考える。そこで、令和7年度平和祈念式典の「こども代表の言葉」を提示する。同じ6年生が日本や世界の課題に向き合い、「One Voice. たとえ一つの言葉でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず。」と強く発信している姿に触れることで、児童に驚きや刺激を与えたいと思う。こうした体験が、「自分も社会に関わる存在である」という自覚を生み、単元全体の学びの原動力になると考える。

(2) 学習過程 ～過去をふり返り、未来を考える流れづくり～

単元の導入では、縄文時代の暮らしと現在の東京（日本橋）の様子を比較する。技術面だけでなく、政治の仕組みや暮らしの様子も大きく発展してきたことを実感できるようにすることがねらいである。ここから、「日本は、どのようにして発展してきたのだろうか」という問いを設定し、歴史学習全体を振り返る学習へとつなげる。このとき、単なる出来事の確認にならないよう、背景やつながり、影響などを思い出せる声かけを行う。こうして再構成された知識が、単元後半で「歴史を学ぶ意味」を考える際の根拠になると考える。また、全体で共有することで、どの時代においても、先人たちが課題を工夫や努力で乗り越えてきたことに気付けるようにしていきたい。そのうえで、現代の課題にも目を向け、「今度は、自分たちが未来をつくる番である」という意識につなげていく。単元後半では、改めて「こども代表の言葉」を扱う。同じ6年生の姿から刺激を受け、「自分たちも未来をよりよくしたい」と思えるようにしたい。そして、「歴史を学んだ私たちは、日本や世界のために、これから何を大切にしていくなすべきか」という問いに向き合うことで、これまでの学習を拠り所にして、自分の考えを形成し、協働的な活動を通してさらに深めていくことを目指す。

(3) 学習活動 ～考えを比べ、つなぎ、よりよい考えにつくり直す～

本単元で目指す姿は、歴史学習をもとに未来の社会について考え、自分の意見をもって議論し、社会の担い手として自覚し、主体的に問題解決しようとしている姿である。その姿に近づくためには、友達との考えの違いや共通点、根拠の違いに目を向け、自分の考えを深めようとする姿勢が必要である。そこで、児童一人ひとりの「結論」が書かれた名簿を配付し、誰がどのような考えをもっているのかを一覧で見られるようにする。考えの違いや共通点が見えやすくなり、自分の考えを取り入れ、再構築しやすい環境になると考える。

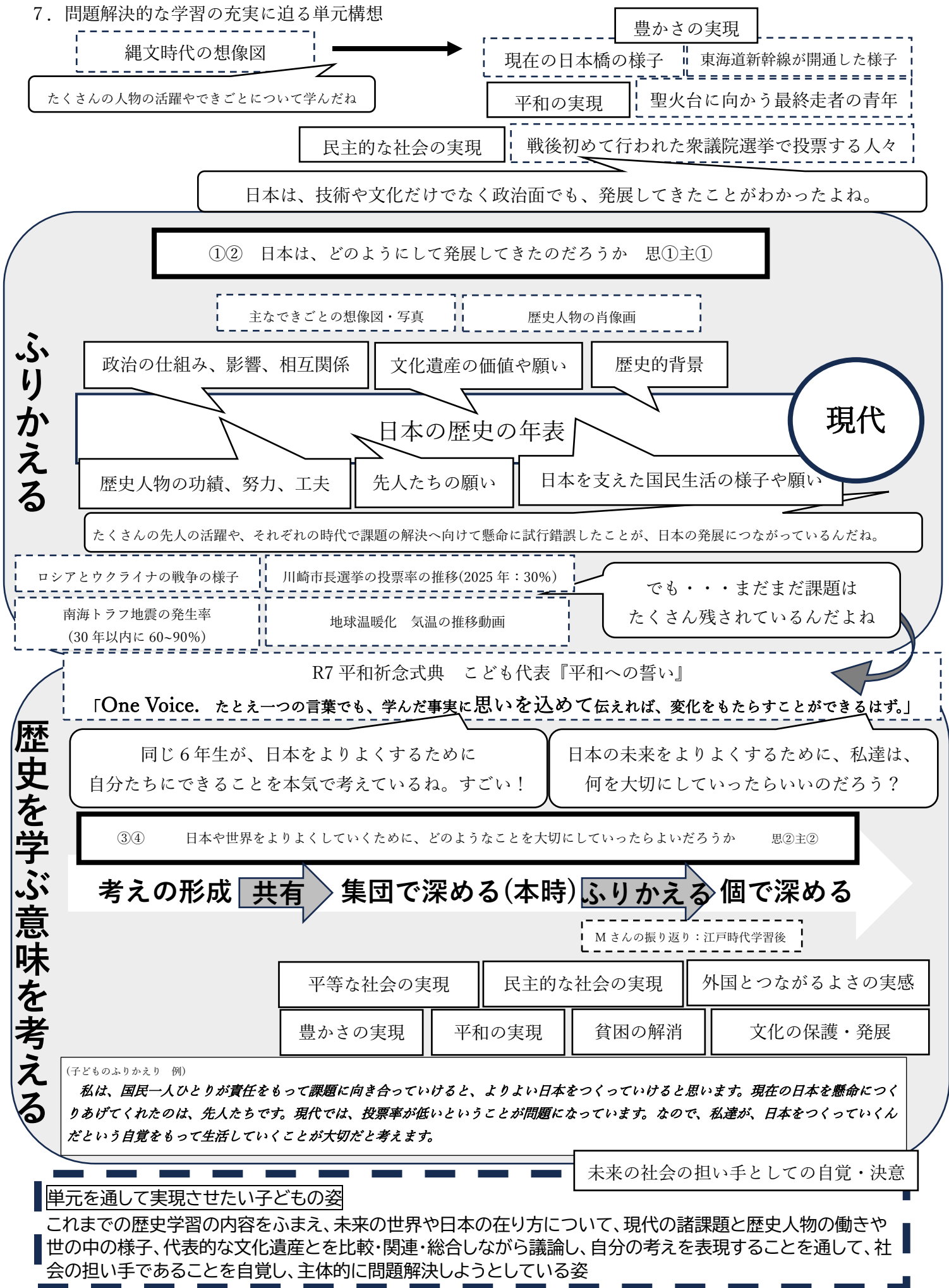
(4) 指導と評価 ～歴史の転換点でのふり返りを積み重ね、視点を広げる～

歴史学習全体の中で、「むらからくにへ」「天皇中心から武士中心へ」「武士中心から天皇中心・近代化へ」「戦争の時代」「戦後から現代へ」という5つの転換点を設定する。これらは政治や社会の仕組みが大きく変化した重要な場面である。各転換点で「歴史を学ぶ意味」に関わるふり返りを行う。ふり返りで出てきた児童の考えを見取り、クラス全体で共有することで、「平等」「民主主義」「平和」「豊かさ」「文化の保護」など、歴史を学ぶ意味を考える際の手がかりとなる多様な視点を育てていく。

(5) 一人一人が生きる社会科学習 ～全員が考え続ける“思考参加”の学び～

個別最適な学びによって、どの子も自分のペースで考えることができる。これは、発言が得意な子だけでなく、時間が必要な子や言葉による表現が苦手な子も、自分なりの考えをもつことができるという意味である。協働的な学びでは、自分の考えが友達の気付きにつながったり、話し合いの流れをつくったりする経験ができる。こうした経験を通して、「自分もこの学習をつくる一員である」という意識が育つ。この二つが組み合わさることで、全員が学習の流れを共につくる授業が実現する。ここで重要なのは、発言したかどうかといった活動の参加ではなく、全員が自分の頭で考えている“思考参加”が保障されている点である。特定の子だけが授業を動かすのではなく、一人ひとりの思考が授業の材料となり、考えの違いが絡み合い、学びを豊かにしていけるような授業風土を目指していく。

7. 問題解決的な学習の充実に迫る単元構想



8. 資質・能力の育成に向けた学習評価計画(4 時間)

※□は評価したことを記録に残す場面

本時のねらい	○主な学習活動	◇主な資料	評価方法【評価規準】
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、我が国を発展させてきた出来事や歴史人物について考え、表現することができるようにする。	○縄文時代の様子と現在の日本の様子を比べて、学習問題を設定する。 ○学習問題に対しての自分の考えを思考ツールに記述する。	◇縄文時代の想像図 ◇現在の日本橋の様子(写真) ◇東海道新幹線が開通した様子(写真) ◇戦後初めて行われた衆議院選挙で投票する人々(写真)	・発言やノートの記述から「世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、我が国を発展させてきた出来事や歴史人物について考え、表現しているか」を評価する。【思一①】
②どのような人物の活躍やできごとが日本を発展させたのかについて考える学習の計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。	○思考ツールに記述した考えを全体で共有する。 ○前単元で提示した資料を基にして、現在も解決しなければならない課題が残されていることを再認識する。 ○これまでの学びをふりかえる。	◇主なできごとの想像図 ◇歴史人物の肖像画 ◇ロシアとウクライナの戦争の様子(写真) ◇川崎市長選挙の投票率の推移(グラフ) ◇南海トラフ地震の発生率(動画) ◇地球温暖化 気温の推移(動画)	・行動やふりかえりの記述から「どのような人物の活躍やできごとが日本を発展させたのかについて考える学習の計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。【態一①】
③未来の世界や日本の在り方について、現代の諸課題と歴史人物の働きや世の中の様子、代表的な文化遺産とを比較・関連・総合しながら議論し、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。	○【R7 平和祈念式典 こども代表『平和への誓い』(動画)】をもとにして、学習問題を設定する。 ○学習問題に対しての自分の考えを思考ツールに記述する。	◇R7 平和祈念式典 こども代表『平和への誓い』(動画)	・発言や思考ツールへの記述から「未来の世界や日本の在り方について、現代の諸課題と歴史人物の働きや世の中の様子、代表的な文化遺産とを比較・関連・総合しながら議論し、歴史を学ぶ意味を考え、表現しているか」を評価する。 【思一②】
④日本や世界をよりよくしていくために、どのようなことを大切にしていたらよいかをこれまでの歴史学習の内容をふまえながら議論することを通して、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を養う。	○思考ツールに記述した考えを全体で共有する。 ○2つの資料について、考えたことを話し合う。 ○これまでの学びをふりかえる。(スプレッドシートを活用する)	◇M さんの振り返り：江戸時代学習後	・発言や振り返りの記述から「日本や世界をよりよくしていくために、どのようなことを大切にしていたらよいかをこれまでの歴史学習の内容をふまえながら議論することを通して、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしているか」を評価する。 【態一②】

9. 本時の展開(4/4)

(1)目標

これまでの歴史学習の理解を踏まえて、日本や世界をよりよくしていくために、どのようなことを大切にしていっていいかについて議論することを通して、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする態度を養う。

(2)展開

学習活動	・予想される児童の反応 ☆教師の発問	支援(○)と評価規準
<p>前時では、広島で行われた平和祈念式典の子ども代表の言葉をきっかけに歴史を学んだ今、日本をよりよくしていくために、自分たちが大切にしていかなければならないことは何かという問いを設定し、自分の考えを思考ツールにまとめた。</p>		
<p>？ 日本や世界をよりよくしていくために、どのようなことを大切にしていっていいだろうか</p>		
1. 問いについて考えたことを議論する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平和の実現は、大切だけど平和を実現させるためには、お互いの国が認め合って、よりよい関係を築くことが大切なんじゃないかな。これまでの歴史でも、自国の利益を優先するあまり、争いが起きてしまった時があったな。 ・争いだけでなく、貧困が解消されたり平等な世の中になったりすることが平和につながると思う。そのために行基のように他の人を思いやって行動したり国が国民のために政治を続けたりすることが大切だと思うな。国民主権も守っていくことが必要になってくるね。 	○友達の考えの違いや共通点に気が付き、自分の考えに生かせるように、それぞれ何を考えているかが一目でわかる一覧を児童に配布する。
2. 資料をもとにして、話し合うことで社会の担い手としての自覚を高める。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Mさんの振り返り：江戸時代学習後 「江戸時代を学んで、昔の日本はこんなに苦労していて、今の日本があるんだと昔の人に感謝です。わたしたちが、いい日本にしたいなと思いました。私も大人になったら頭をつかって楽しくがんばります。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・私も、今度は、自分達がすてきな日本をつくっていかなければならないと思ったよ。 ・Mさんが言っていたように、次の日本をつくるのは、自分達だよ。だから、この結果はまずいと思う。 ・やっぱり、自分達が日本や世界をよりよくしていきたいと思ったよ。 	○子ども達の話合いが、他人事になっていたら、社会の担い手としての自覚を高められるように、児童の過去の振り返りを提示する。
3. 学習を振り返ることで、自分の考えを再構築する。	<p>〈学びを振り返っている姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題の解決のために大切にしていっていいと思うことを考えている。 ・これまでの歴史学習の内容を現代の諸課題と関連付けながら主張の根拠としている。 <p>(例)(民主的な社会の実現)の視点から</p> <p>私は、国民一人ひとりが責任をもって課題に向き合っていけると、よりよい日本をつくっていけると思っています。現在の日本を懸命につくりあげてくれたのは、先人たちです。現代では、投票率が低いということが問題になっています。なので、私達が、日本をつくっていくんだという自覚をもって生活していくことが大切だと考えます。</p>	<p>○自身の学びの高まりを実感できるように、これまで書き溜めていたスプレッドシートに振り返りを打ち込むように声をかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【態一②】 振り返りの記述から、「これまでの歴史学習の理解を踏まえて、日本や世界をよりよくしていくために、どのようなことを大切にしていっていいかについて議論することを通して、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしているか」を評価する。</p> </div>

10. 「社会のしくみ」と「社会のかかわり」をつなぐ理解の構造図

社会との関わり

我が国の歴史についての理解を踏まえて、国家及び社会の発展に貢献した先人によってつくり出された歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を養う。

まとめてわかること

現在の自分たちの生活があるのは、大昔から長い時間をかけて、先人たちが日本をより良くしようと考え、努力してくれたおかげだ。その時代ごとに直面した様々な課題を、多くの先人たちが工夫したり知恵を出したりして、解決することで発展してきた。今の時代を生きる自分たちも歴史をつくる一員であり、過去の出来事を今や未来に生かしていくべきだ。今までの歴史や伝統を大切に、平和で、世界に誇れる素晴らしい日本をもっと良くしていきたい。

着目すること

日本や世界をよりよくしていくために
どのようなことを大切にしていったらよいだろうか

いつの時代もよりよい社会を目指して、様々な課題を解決するために、先人が工夫や努力をして日本は発展してきた。今までの長い歴史や先人たちの働きがあるからこそ、今の自分たちの生活があり、先人たちの働きや願いが自分達の生活と深くかかわっている。

今の自分たちも歴史をつくる一員であり、過去の出来事を今や未来に生かして、よりよい社会をつくるのが大切だ。

知識

①

- ・縄文時代の想像図
- ・現在の日本橋の様子
- ・東海道新幹線が開通した時の様子
- ・聖火台に向かう最終走者の青年
- ・戦後初めて行われた衆議院選挙で投票する人々
- ・主な出来事の想像図
- ・主な歴史人物の肖像画

②

- ・これまでのふりかえりの記述
- ・ロシアとウクライナの戦争の様子
- ・川崎市長選挙の投票率の推移
- ・南海トラフ地震の発生率
- ・地球温暖化 気温の推移

③

- ・平和祈念式典 こども代表の言葉
- ・これまでのふりかえりの記述

④

- ・Zさんの振り返り…江戸時代学習後

これまでに獲得してきた概念的な知識

戦後、民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たすようになった。

大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などにより、国力が充実して、国際的な地位が向上した。

黒船の来航により開国し、欧米の文化を取り入れつつ、近代的な政治や社会の仕組みが整った。

社会が安定して平和な世の中になるにつれて、町人の文化が栄え、新しい文化や学問が起こった。

織田信長、豊臣秀吉の政策により、戦国の世が統一され、身分制度が確立し、武士による政治が安定した。

室町時代には、生け花、水墨画、茶道など今もおお多くな人に親しまれ、今日の生活文化に直結する要素をもつ文化が生まれた。

武士が力をつけていき、源頼朝が鎌倉に幕府を開いたことで、武士による政治が始まった。元寇では、多くの武士を動員して戦った。

大陸の文化を取り入れたり、大化の改新が起こったり、大仏を造営したりして、天皇中心の政治が確立された。日本風の文化が起こった。

狩猟・採集や米づくりを行っていて、古墳もつくられた。いくつかのむらができ、やがては大和朝廷によって統一された。